

No.	めざす子ども像	評価計画				自己評価						学校関係者評価		改善計画
		重点目標	取組の重点項目	評価指標	R5アンケート			前年度アンケート			結果と課題の説明	コメント	改善案	
					教職員	児童	保護者	教職員	児童	保護者				
1	生涯に渡って学び続けようとする子 (「確かな学力」)	◎対話的に高め合う授業づくりを通し、自分の意見をもち、集団でそれを高めあう力を育てる。 ○相手意識をもって聞く、話す力を育てる。	◎説明レベルを活用・意識した指導 ○ペア・グループなど学習形態を工夫し、児童のかかわりを生かした授業 ○コミュニケーション力の育成に関する職員研修	「説明レベル」を活用したり、「聞き方名人」「話し方名人」を意識したりして、対話的な学習を行っているか。	100%	88%	79%	100%	89%	78%	○設問1の、「相手に伝わるように話したり、最後まで話を聞いたりすること」に関して児童保護者ともに、おおむね8割の肯定的評価が得られた。 △設問2, 3について、保護者の評価が低い。学校での学習には意欲的に参加する児童が多いが、家庭学習においては前向きに取り組めていない状況がうかがえる。 △設問4について、児童、保護者ともに評価が低い。授業での調べ学習や、自学の推進をおこなってきたが、児童が自ら課題を見つけ、進んで本や新聞、ICTを活用するところまでは到達していない状況がうかがえる。	・学習面の教職員の評価が高く、児童のために工夫していることが分かる。学ぶことの楽しさ、面白さが感じられる授業により学習意欲が高められると思うので、引き続きみんなが学びのある授業であることを願っている。 ・授業の中で育んだ「相手意識を持って聞く・話す」の成果を学校生活のあらゆる場面で感じる。朝の読み語りや聞く様子、学習発表会の様子等 ・学習発表会では、発達段階に応じた学習の成果が出ていた。表現する力、協力する力。 ・目的意識を明確にし、相手意識をもって行動できる児童の育成を期待する。 ・家庭学習において自学の推進は今後も続けてほしい。保護者への自学への理解を啓発する必要がある。学びたいことを自ら学び続ける児童を育成してほしい。 ・ICTについては、活用方法等課題がたくさんある。教員の負担も大きく、小中連携も含め、教科制の導入も必要ではないかと感じる。	・保護者に対して研究についての重点などを、総会や学級懇談会で伝える。	
2		◎それぞれの教科に応じて学ぶ楽しさを味わえる授業づくりを通し、自己教育力を育成する。	◎教科の特性を踏まえ、それを学ぶ楽しさを伝える授業づくり ○操作活動、体験活動等、児童の実態に合った活動の導入	主体的に学習に取り組んでいるか。	100%	86%	69%	100%	87%	70%		・学校の学習なのか、家庭学習なのかは質問としてはっきりさせる。学校の学習に主体的に取り組んでいるかを聞く質問に変更する。		
3		○学習用具の準備・家庭学習の習慣化を図るとともに、ICTの活用を進め、学習への主体性を育てる。	○「元気アップ週間」による、家庭との連携強化 ○学習用具の用意や学習時の姿勢など、学習に臨む態度の重視	家庭学習(宿題や自学、タブレット学習等)を忘れずにしているか。	92%	82%	64%	100%	92%	66%		・基本的には忘れずにやっていると思う。保護者の受け止めとしては言わないとやらないことからこの結果が。宿題以上のことに取り組めるよう自学やタブレット学習等の紹介をこれからも進める。		
4		◎ICTの活用や図書館の活用を通して、情報活用力を育てる。	◎教科での図書やICTの活用を通して、必要な情報を収集・整理し、学習のまとめや発信などに取り組む。	教科学習において、必要な情報を図書・ICTを活用して収集し、それを活用してまとめに生かしているか。	93%	62%	68%	100%	78%	59%		今年度活用した事例をまとめ、次年度以降、活用の参考にしていけるようにする。		
5	自らの健康に気を配り、心も体もたくましい子 (「健やかな心身」)	◎食の指導やお弁当の日を通して、食に対して自発的に行動できる児童を育てる。	○系統的な食の指導 ○お弁当の日の実践 ○家庭科での栄養指導	食の指導を通して食事の大切さを意識して、日々の生活を送っているか。(弁当作り、給食活動)	92%	97%	79%				○設問5について、お弁当の日の取組や偏食をしないなど食を通して健康に気を付ける意識が高まってきている。 △設問6について、今年度も、4校園元気アップ運動を生かした規則正しい生活について保護者の評価が低くなっている。しかし、児童の評価については78%、83%、87%と肯定的評価が高くなってきている。今後も「4校園」についての周知や生活習慣についての呼びかけを継続していく。 ○設問7について、今年度重点的に取り組んだ、「あいさつ名人」について高い評価を得ることができた。 △設問8, 9について、保護者と教職員の評価が低くなっている。整理整頓、メディアとの付き合い方について指導していく。	計画的な食の指導によって、残食が少なく偏食せず食べる意識が高まっているため、今後も継続した指導を行っていく。		
6		◎基本的生活習慣確立の取組を通し、めあてをもち最後までやり抜く児童を育てる。	○掛合町4校園での「元気アップ週間」を活かした、生活習慣の確立の取組	規則正しい生活を心がけ、実践しているか。	100%	87%	66%	100%	83%	61%		今後も4校園で連携し、生活習慣の定着に向けた取組を行っていく。		
7		○生活目標に設定し、年間を通してのあいさつ運動の取組		「あいさつ名人」でのあいさつ、返事をしているか。	87%	90%	73%	83%	88%	76%		あいさつ名人について生活目標に取り入れたことで、どんな場面でもあいさつができるようになってきているため、更に呼びかけを継続していく。		
8		○物を大切にす、掃除をする等、環境に配慮する意識と態度の育成		物を大切にする、整理整頓するなど、環境に配慮しようとしているか。	64%	85%	49%	75%	79%	42%		日頃から身の周りの整理整頓をすることによる過ごしやすさを伝えていく。		
9		◎メディアとの接し方、家庭での過ごし方についての指導		メディアの使い方について考え、めあてを決めて実行しているか。	40%	79%	47%	50%	72%	54%		元気アップ週間を活用して、メディアの使い方のめあてを設定し、定期的に見直しを行う。デジタルシティズンシップ教育を通して、メディアとの付き合い方を指導していく。		
10	明るくやる気のある子 (「豊かな人間性」)	◎ふるさと学習を推進し、地域への愛着と誇り、自己肯定感を育てる。	◎地域の教育資源を生かした、計画的、積極的な学習活動の実践	ふるさと教育を通して、ふるさとに興味をもったり、ふるさとがより好きになったりしたか。	100%	97%	77%	100%	94%	52%	○設問10について、高い評価であったことから、ふるさと学習を行ってきた成果が表れてきた。 ○家庭で、将来の夢や願い、将来がなりたいことについて話す割合が、9%向上した。 ○設問12について、周りの人の気持ちを考えた行動ができていく割合が昨年引き続き高くなっている。 ○設問13から、家庭でのお手伝いについて、保護者の評価が11%向上した。	・地域を活かした、また、利用した学習がたくさん実施されている。今後も継続してほしい。 ・掛合の子は、みんな明るく優しい子たちです。しっかりほめ、認め、みんなで支えたいと思う。	今後も地域の人・もの・こととのつながりを大事にして、ふるさと教育を推進していきたい。	
11		◎夢発見プログラムの推進により、未来に向かってたくましく生き抜く社会人を育成する。	◎キャリアパスポートの活用	自分の良さを知り、将来の夢や目標を持っているか。	92%	76%	78%	80%	78%	69%		今年度も年度末までにキャリアパスポートを家庭に持ち帰って家庭で話題にもらい、児童に励ましのコメントをもらう。		
12		◎集団のために活動したりすることを通して、集団の一員としての自覚を高め、よりよい生活をめざして工夫する力や実践力を育成する。	○生活の中の課題について子どもが友だちと共に解決する取組	友だちの気持ちを考えた行動ができていくか。	100%	88%	86%	83%	89%	87%		年間2回のほかほか週間を継続すると共に、年間を通して指導を重ねていく。		
13			○委員会活動、係活動、掃除等、自分の役割をきちんと果たし、集団のために工夫する実践力の育成	自治的・実践的な活動への意欲と態度が育っているか。	93%	97%	73%	100%	93%	62%		今後も継続して集団のために自分の役割を果たそうとする態度を指導する。		

14	居心地の良い学校の基盤と家庭となるとも権利・特別支援教育・生徒指導の推進、地域・	◎人権同和教育を全教育活動の基底に据える。 ◎個に応じた特別支援教育を推進する。 ◎理解教育の充実を図る。	◎学習支援員や、関係機関等と連携した、個別支援の取組 ◎互いに認め合うための理解学習の実践	個に応じた指導により、一人一人を大切にされた教育環境が作られているか。	100%	75%	83%	100%	88%	89%	◎設問15～19について、昨年に引き続き、高い評価を得ている。 ◎設問18より、適切な教材選定、保護者負担軽減について保護者の評価が、10%向上した。 △設問14について、児童の「学校での勉強や生活でわからないことや困ったことがあったら誰かに相談できますか」に対する肯定的評価が低い。人間関係づくりや話を聞く姿勢についてさらに取り組んでいく必要性を感じる。 △設問17について、感染症の情報についてこまめに発信してほしいという意見が2件あった。個人情報の保護の観点から、どの程度で発信するのか今後検討していく。	・人権同和教育を全教育活動の根底に据え、また、理解学習の実践もされていることが子どもの様子や学校生活の様子から感じることができる。しかし、見えないところで悩み苦しんでいる児童がいることも現実である。誰もが居心地の良さを感じられるよう、また、教員が児童と向き合う時間を確保するためにも、学校支援ボランティア等の発掘をしてもよいと思う。 地域に眠っている教育力が目覚めるかもしれない。学校運営協議会の場で、地域で学校を支援する風土醸成について協議されることを期待する。 ・地域CNを中心に地域との連携が取れている。 ・保護者の方も地域の方も子どもたちも相談しやすい雰囲気や気軽に入れるような学校であってほしい。また、保小、小中のつながりがスムーズに行えるよう各校の学びの共通理解等職員同士の交流も深まるといい。 ・感染症の情報については、少数意見ではあるが、不安に思われる方がおられるので、ある程度の発信は必要だと思う。	保護者への設問「お子さんは、学校を楽しみにしていると思いますか。」は、「学校は一人一人を大切にされた教育を行っていると思いませんか」などに変更すると良いのでは。児童への設問も、「誰かに相談できますか」から、「先生や友だちは助けてくれますか」に変更する。来年度も引き続き理解教育を行い、一人一人を大切に指導を行っていく。
15		◎学習環境の整備を図る。	◎学習意欲を高める環境づくり ◎心を潤す掲示や花壇・学校園等の環境美化 ◎心あたたまる掲示物づくり	学習意欲を高め、落ち着いた学習できる環境が整えられているか。	100%	95%	86%	100%	87%	90%	地域に眠っている教育力が目覚めるかもしれない。学校運営協議会の場で、地域で学校を支援する風土醸成について協議されることを期待する。 ・地域CNを中心に地域との連携が取れている。 ・保護者の方も地域の方も子どもたちも相談しやすい雰囲気や気軽に入れるような学校であってほしい。また、保小、小中のつながりがスムーズに行えるよう各校の学びの共通理解等職員同士の交流も深まるといい。 ・感染症の情報については、少数意見ではあるが、不安に思われる方がおられるので、ある程度の発信は必要だと思う。	今後も学習意欲を高め、落ち着いた学習できる環境を整えられるよう、全職員で取り組んでいく。	
16		◎地域の教育力を活かした学校教育活動を推進する。	◎地域CNとの連携 ◎多様な価値観に触れる場と機会の創出のためのゲストティーチャー・活動ボランティアの開拓と関係者との連携 ◎学校施設の積極的開放	地域の教育力が学習に効果的に活かされているか。	100%	92%	88%	100%	95%	89%	・地域教育資源を活用した各学年の取組を見える化(特色ある教育実践のカリキュラム)したものを年度始めと年度末に見直しや振り返りをしながら次年度に活かしていく。		
17		◎開かれた学校、開かれた教育課程づくりを推進する。 ◎地域の願いを踏まえた学校経営を行う。	◎学校関係者評価の実施 ◎情報の発信と受信(「ましましず」学級だより、HP、学級懇談、家庭訪問、地区懇談会、個人面談等) ◎適切な教材選定・保護者負担軽減	情報発信が十分になされ、保護者や地域の声が還元される機会を設けているか。	100%		89%	100%		94%	・情報発信については、今後も個人情報の扱いに十分配慮しながら必要な情報を発信していく。		
18			◎適切な教材選定・保護者負担軽減	適切な教材選定を行い、保護者負担軽減に努めているか。			88%			78%			
19	◎安全・安心な環境づくりに努める。	◎危険予知・回避能力の向上を図る安全教育の推進 ◎安全点検・修繕の実施	安全・安心・快適な教育環境を児童とともに作り、維持しようとしているか。	100%	98%	91%	100%	95%	94%				
20	協働する教職員集団	◎教職員の働き方改革を推進し、働きやすい環境づくりを進める。 ◎教職員の資質向上を図り、より質の高い教育活動を提供する。 ◎一体感を醸成し、居心地の良い職場環境を創造する。	◎勤務時間や健康管理(ワーク・ライフ・バランス) ◎計画的・効率的な職員会議運営や職員研修 ◎職員の行動(取組)目標の重点化と視覚化 ◎「子どもを語る会」の持ち方の工夫(時間) ◎PTAと連携した研修会の実施	働き方改革を進め、勤務時間・健康管理を意識し、必要な業務に時間をかけられるようにしているか。 教職員の資質向上を図るための研修が、計画的に実施されているか。	93%			100%			◎設問20、21について、働き方改革、研修等高い評価を得ている。今年度は、夏季休業を利用して、教職員で、掛合町巡り(多根、松笠方面)を実施した。	・子どもたちのために、一生懸命向き合っておられると感じ、意識の高さが伝わってくる。 ・働き方改革はとても大切なことだと思う。気持ちよく仕事ができる環境であるよう努めていただきたい。	・令和6年度は、波多・入間方面の教職員研修を計画実施する。 ・生活時程の見直しや、勤務時間の整理をし、メリハリのある勤務体制の構築をしていく。
21					100%			100%					

※アンケートにおけるパーセンテージは、肯定的な回答(「そう思う」「だいたいそう思う」)の割合を示す。